

別紙

非木造建物積算数量比較表

用途	
構造・区分	
階高	
階層	

LGS造及び鉄鋼系プレハブ工法（LGS造）の専用住宅及び共同住宅：直接仮設（仮設工事面積）

コード	延床面積 (㎡)	規模補正率	形状補正率	仮設工事面積	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	$(d) = (a) \times (b) \times (c)$		
当該建物						
比較建物						

RC造、SRC造：基礎く体（基礎コンクリート量）

コード	1F床面積 (㎡)	統計数量値 (基礎コンクリート)	杭地業 補正率	地盤状況 補正率	基礎コンクリート量 (m3)
	(a)	(b)	(c)	(d)	$(e) = (a) \times (b) \times (c) \times (d)$
当該建物					

RC造：上部く体（コンクリート量）

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (コンクリート)	基礎コンクリート量	階高補正率	上部く体コン クリート量	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d)	$(e) = (a) \times (b) - (c) \times (d)$		
当該建物							
比較建物							

RC造：上部く体（型枠）

コード	延床面積 (㎡)	上部く体コン クリート量	統計数量値 (型枠)	型枠	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	$(d) = (a) \times (b)$		
当該建物						
比較建物						

SRC造：控除（鉄骨分）コンクリート量

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (鉄骨)	控除する 鉄骨量 (t)	コンクリート 換算値	控除コンクリート量 (m3)
	(a)	(b)	$(c) = (a) \times (b)$	(d)	$(e) = (c) \times (d)$
当該建物					
比較建物					

SRC造：上部く体（コンクリート量）

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (コンクリート)	基礎コンクリート量	階高補正率	上部く体コン クリート総量	控除コンクリート量 (m3)	上部く体 コンクリート量	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d)	$(e) = (a) \times (b) - (c) \times (d)$	(f)	$(g) = (e) - (f)$		
当該建物									
比較建物									

SRC造：上部く体（型枠）

コード	延床面積 (㎡)	上部く体コン クリート総量	統計数量値 (型枠)	型枠	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	$(d) = (a) \times (b)$		
当該建物						
比較建物						

S造・LSG造：く体鉄骨量

コード	延床面積 (㎡) (a)	統計数量値 (b)	胴縁 補正率 (c)	母屋 補正率 (d)	統計数量値 (補正後) (e) = (b) × (1 - (c) + (d))	鋼材量 (t) (f) = (a) × (e) / 1,000	採用	採用値
当該建物								
比較建物								

S造・LSG造：く体鉄骨量 (平家建工場等の建物に一部2階が存する場合)

コード	対象面積 (㎡) (a)	統計数量値 (b)	鋼材量 (t) (c) = (a) × (b) / 1,000	採用	採用値
当該建物					
比較建物					
当該建物					
比較建物					

備考1：上段が一部2階が存する部分で、下段が一部2階が存しない部分とする。

備考2：一部2階が存する部分と一部2階が存しない部分について、それぞれ比較を行うものとする。

S造・LSG造：く体鉄骨量 (走行クレーンが設置されている場合)

コード	延床面積 (㎡)	対象面積 (クレーン有) (a)	統計数量値 (b)	補正率 (c)	統計数量値 (補正後) (d) = (b) × (c)	対象面積 (クレーン無) (a')	鋼材量 (t) (e) = (a) × (d) + (a') × (b) / 1,000	採用	採用値
当該建物									
比較建物									

備考1：補正率は走行クレーンが設置されている場合のものとする。

注：RC造の主要構造部の一部が異種材料で施行されている場合のコンクリート量、S造の平家建工場等の建物に一部2階が存する場合でかつ一部部材等異種材料の場合等、本比較表によりがたい場合については、適宜別紙（任意様式）により前欄との比較を行うものとする。

別紙

非木造建物積算数量比較表

用途	
構造・区分	
階高	
階層	

LGS造及び鉄鋼系プレハブ工法（LGS造）の専用住宅及び共同住宅：直接仮設（仮設工事面積）

コード	延床面積 (㎡)	規模補正率	形状補正率	仮設工事面積	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d) = (a) × (b) × (c)		
当該建物						
比較建物						

RC造、SRC造：基礎く体（基礎コンクリート量）

コード	1F床面積 (㎡)	統計数量値 (基礎コンクリート)	杭地業 補正率	地盤状況 補正率	基礎コンクリート量 (m3)
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e) = (a) × (b) × (c) × (d)
当該建物					

RC造：上部く体（コンクリート量）

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (コンクリート)	基礎コンクリート量	階高補正率	上部く体コン クリート量	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e) = (b) × (d) - (c) × (d)		
当該建物							
比較建物							

RC造：上部く体（型枠）

コード	延床面積 (㎡)	上部く体コン クリート量	統計数量値 (型枠)	型枠	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d) = (a) × (b)		
当該建物						
比較建物						

SRC造：控除（鉄骨分）コンクリート量

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (鉄骨)	控除する 鉄骨量 (t)	コンクリート 換算値	控除コンクリート量 (m3)
	(a)	(b)	(c) = (a) × (b)	(d)	(e) = (c) × (d)
当該建物					
比較建物					

SRC造：上部く体（コンクリート量）

コード	延床面積 (㎡)	統計数量値 (コンクリート)	基礎コンクリート量	階高補正率	上部く体コン クリート総量	控除コンクリート量 (m3)	上部く体 コンクリート量	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e) = (b) × (d) - (c) × (d)	(f)	(g) = (e) - (f)		
当該建物									
比較建物									

SRC造：上部く体（型枠）

コード	延床面積 (㎡)	上部く体コン クリート総量	統計数量値 (型枠)	型枠	採用	採用値
	(a)	(b)	(c)	(d) = (a) × (b)		
当該建物						
比較建物						

S造・LSG造：く体鉄骨量

コード	延床面積 (㎡) (a)	統計数量値 (b)	胴縁 補正率 (c)	母屋 補正率 (d)	統計数量値 (補正後) (e) = (b) × (1 - (c) + (d))	鋼材量 (t) (f) = (a) × (e) / 1,000	採用	採用値
当該建物								
比較建物								

S造・LSG造：く体鉄骨量 (平家建工場等の建物に一部2階が存する場合)

コード	対象面積 (㎡) (a)	統計数量値 (b)	鋼材量 (t) (c) = (a) × (b) / 1,000	採用	採用値
当該建物					
比較建物					
当該建物					
比較建物					

備考1：上段が一部2階が存する部分で、下段が一部2階が存しない部分とする。

備考2：一部2階が存する部分と一部2階が存しない部分について、それぞれ比較を行うものとする。

S造・LSG造：く体鉄骨量 (走行クレーンが設置されている場合)

コード	延床面積 (㎡)	対象面積 (クレーン有) (a)	統計数量値 (b)	補正率 (c)	統計数量値 (補正後) (d) = (b) × (c)	対象面積 (クレーン無) (a')	鋼材量 (t) (e) = (a) × (d) + (a') × (b) / 1,000	採用	採用値
当該建物									
比較建物									

備考1：補正率は走行クレーンが設置されている場合のものとする。

注：RC造の主要構造部の一部が異種材料で施行されている場合のコンクリート量、S造の平家建工場等の建物に一部2階が存する場合でかつ一部部材等異種材料の場合等、本比較表によりがたい場合については、適宜別紙（任意様式）により前欄との比較を行うものとする。